

CJK マーク入り瓦の製造を開始した、株式会社鶴弥様 阿久比工場訪問

日 時 平成 25 年 10 月 08 日(火) 13:00~15:30

場 所 株式会社 鶴弥 阿久比工場
愛知県知多郡阿久比町大字矢高字西の台 1-1

1. 阿久比工場見学

CJK マークを刻印した瓦の製造工程見学

(左から右 「瓦の原料」、「引き延ばされた瓦原料」、「CJK マーク入りの瓦がラインに流れる」、「CJK マーク」、「完成した CJK マーク入り瓦」、「製造過程の説明を聞く委員」、「左より株式会社鶴弥様 杉浦開発部長、三井工場長、田中開発部係長」、「工場見学の感想を述べる経済産業省住宅産業窯業建材課 亀井課長補佐」)





2. 取材

CJK マーク製品製造開始のプレスリリースを行い、8 月より粘土瓦業界で初めて、CJK マークを刻印した瓦の生産を開始した、株式会社鶴弥様の阿久比工場を訪問し生産工程の見学、質疑応答を行いました。

CJK 基準・粘土瓦（F 型棧がわら）に適合した「スーパートライト 110 スマート」は、原料である粘土を配合、混練、成形、乾燥し、素地（しらじ）にゆう薬を塗り、焼成して作られます。焼成行程では、台座に約 600 枚の瓦を立てて 1,130℃の高温で焼き締められます。完成した瓦には、縦 27 ミリ、横 34 ミリの CJK マークがしっかりと刻印されていました。同製品は、本年 3 月に新発売されていますが、CJK マーク入りはこの金型に CJK マークを追加で印字し、8 月より生産されています。

CJK マークのサイズ、位置はどのように決められたかという質問に、「制約がなく自由であったことから金型への追加は比較的スムーズに行えました。唯一生産工程上邪魔にならない位置ということで、現在刻印している KTA（株式会社 鶴弥 阿久比工場の頭文字 縦 7 ミリ、横 23 ミリ）の左側としました。新しい金型は最初から CJK マークが印字されています」。

現在、月産 30 万枚生産されており、CJK マーク入り瓦は工事店様への供給も始まっています。このマークの反響に関してお聞きすると 1 件問い合わせがあったということでした。これまで取引のない住宅メーカー様への供給が決まり、来年には生産量も倍増する計画ということです。

これまで以上に、CJK マークが市場に認知される可能性が高まります。

以 上